

三田市長 森 哲男 様
三田市教育委員会 御中

2021年5月28日
新日本婦人の会三田支部
支部長 松原 慶子
三田市ゆりのき台3

「地域女性活躍推進交付金」を活用し、

生理用品を学校施設の女子トイレ個室などに設置してください。

平素より、市民生活向上のためにご尽力いただき、ありがとうございます。

この度のコロナ禍、雇用状況があっかするなか、女性の失業や世帯の収入が激減している家庭の児童・生徒や、アルバイトができずに困窮する生徒・学生も増えています。節約のために毎月の必需品である生理用品を購入することができず、「交換の回数を控える」「トイレットペーパーを代用する」などの「生理の貧困」の実態が報道され、世界中で大きな問題になりました。海外では、学校で生理用品の無償配布、トイレ個室に設置等、国としての取り組みが広がっています。

日本の自治体や三田市でも災害備蓄品を使って無償提供の取り組みが行われています。

しかし、保健室に行けば生理用品は準備されていますが、「恥ずかしくて言い出せない、保健室に行くところを友達に見られたくない、知られたくない、毎月はもらいに行けない」など悩んでいる子どもたちがいます。

子どもたちが心理的負担を感じることなく、いつでも利用できる環境を整えることは、大人の責任であります。

京都市は、今回の国の追加措置にいち早く手をあげて、5月補正予算で、学校の生理用品の配布を具体化しました。

- 1、 **児童**・生徒が安心して通学でき、心も身体も健康で衛生的な生活を保障するために、今回配備される生理用品を、学校施設の女子トイレ個室に設置してください。
- 2、 今回の国の「地域女性活躍交付金」の申請をし、生理用品の無償配布を実現してください。